

森林とともに生きる① (教科書 222~235 ページ) **解答**

氏名()

①日本は世界の国々の中でも、森林の多い国です。国土にしめる森林の割合は約何パーセントですか。(教科書 222 ページ)

約 **66 (70) %**

②森林は土砂くずれの被害を防ぐはたらきがあるといわれています。どうしてですか。(教科書 223 ページ)

地面に張った木々の根が、土砂の流出をおさえるから。

③日本にはなぜ森林が多いのでしょうか。あなたの考えを書きましょう。

自分の考えを書きましょう

④森林の多い高知県では、地元の木材をどのように利用していますか。(教科書 226・227 ページ)

- ・さまざま建物や木工品の材料として使われている。
- ・学校の校舎やつくえ、いすの材料として使われている。

など

⑤教科書 227 ページの 2 枚の絵や「林業を営む筒井さんの話」をもとに、森林がある場合とない場合とで、どのようなちがいがあるのか説明しましょう。

<p>【森林があると】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂くずれが起こりにくい。 ・キャンプなどを楽しむことができる。 ・たくさんの動物のすみかになる。 ・木材や食料、豊かな水をもたらしてくれる。 など
<p>【森林がないと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂くずれが起こりやすくなる。 ・流れこんだ土砂などで川がにごる。 ・動物が少なくなる。 <p style="text-align: right;">など</p>

⑥林業にたずさわる人々は、どのようにして人工林を育てているのでしょうか。表の左のらんじに、作業の名前を書きましょう。(教科書 228・229 ページ)

① <small>なえぎ</small> 苗木を育てる	畑で 2～3 年育てる。
② 植林	育てた苗木を、山などに植える。
③ <small>したくさ</small> 下草がり・ <small>じよぼつ</small> 除伐	植えた木の成長をさまたげる雑草や木を取りのぞく。
④ <small>かんぼつ</small> 間伐	太陽の光がよくとどくように、一部の木を切りたおし、木と木の間を広げる。
⑤ <small>ぼっさい</small> 伐採・ <small>うんぱん</small> 運搬	チェーンソーで木を切る。プロセッサという機械で枝をはらい、同じ長さに切り分けたあと、トラックで運び出す。

森林とともに生きる② (教科書 222~235 ページ) 解答

氏名()

① 林業で働く人の数はどのように変化していますか。(教科書 229 ページ)

- ・ 1980 年から 2000 年にかけて大きく減ったが、その後はあまり変化していない。
- ・ 34 才以下の人の数は 1990 年と比べて増えている。など

② 林業で働く人が少なくなったのはどうしてでしょうか。教科書 230 ページを読んで考えましょう。

- ・ 昔と比べて、国内で使われる木材の量が減ったから。
 - ・ 値段の安い輸入木材にたよっているから。
 - ・ 以前に比べて、木材の値段が下がったから。
- など

③ 林業を営む人を増やすために、国や県はどのような取り組みを行っていますか。表の左のらんに、取り組みの名前を書きましょう。(教科書 231 ページ)

緑の ^{こよう} 雇用事業	新しく林業の仕事につく人に、 ^き 基本的な技術 ^{ほん} を学ぶ場を用意する。
林業インターンシップ	林業に ^{きようみ} 興味のある人を森林の多い地域 ^{まね} に招き、林業体験や地元の人との交流をしてもらう。
林業大学校	1 年間、林業の技術や森林管理、 ^{ちくぞうせつけい} 木造設計などを学ぶことができる。

④ 木材の使用量を増やすために、どのようなことが行われていますか。表の空いているらんに、取り組みの名前や説明を書きましょう。(教科書 231~233 ページ)

もくしつ 木質バイオマス 発電	森林の中に残されていた材木や枝を、発電のための燃料として活用する。
木づかい運動	家庭や学校、会社などで、積極的に国産木材の加工品を使う運動。 ^{かんぼつざい} 間伐材の利用や新しい技術、素材の開発なども進めている。
シーエルティー CLT	じょうぶで軽い ^{けんちくざい} 建築材で、太くない木でも組み合わせて使うことができる。

⑤ 森林を守り、活用するために、わたしたちはどのようなことに取り組んでいけばよいでしょうか。考えたことを書きましょう。(教科書 234・235 ページ)

自分の考えを書きましょう

⑥ 学習した感想を書きましょう。

自分の考えを書きましょう